

薬剤師国家試験に挑戦しよう！

戸井 千紘

2025年2月実施の第111回薬剤師国家試験問題からの出題です。

(正解と解説は71頁)

問題

81歳男性。一人暮らし。息子が車で30分くらいの場所に住んでいる。息子は週末にこの男性宅を訪問し、生活の世話をしている。この男性は65歳から高血圧症、高尿酸血症及び前立腺肥大症の治療を行っていた。1年前に認知症と診断され、処方1、処方2及び処方3の薬剤で治療中である。血圧コントロール不良のため、今回より処方4の薬剤が追加となり、男性が息子とともに処方箋を持って薬局を訪れた。受付時、この男性から、「最近飲み忘れが多く、結構薬が残ってしまいます。今日から薬が1つ増えると聞いたのですが、ただでさえ飲み忘れがあるのに、これ以上増えたらもっと飲めなくなるのではないかと心配です。何か良い方法はないですか。睡眠はよくとれており体調には問題ありません。」と相談があった。

処方1 カンデサルタン4mg、ドネペジル塩酸塩錠10mgを各1回1錠/日 朝食後

処方2 アロプリノール錠100mg、ナフトピジル錠50mgを各1回1錠/日 昼食後

処方3 スポレキサント錠10mg、酸化マグネシウム錠500mgを各1回1錠/日 就寝前

コメント：酸化マグネシウム錠は排便のあった日は服用しないでよい。

処方4 ヒドロクロロチアチド12.5mgを1回0.5錠/日 朝食後

1から4までいずれも14日分の処方。(処方箋に記載されていた検査値) 血圧164/86mmHg AST32 IU/L ALT18 IU/L、血清クレアチニン0.9mg/dL、BUN23mg/dL、尿酸10.1mg/dL

この男性の訴えや症状に対し、1包化(1回分を1包みにまとめること：編集部註)以外に薬剤師が行うこととして適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 電話で毎日服薬確認することを息子へ提案する。
2. 医師へ疑義照会せずに、カンデサルタン錠とヒドロクロロチアチド錠を配合錠に変更する。
3. 処方2の薬剤の服用タイミングについて、朝食後への変更を医師へ提案する。
4. アロプリノールの中止を医師へ提案する
5. スポレキサントの増量を医師へ提案する。